

## 【A年】

### 顕現後第五主日

会衆は着席する。

主よ、あなたに呼び求める民を慈しみ、その祈りをお受けください。どうか、行うべきことを悟る知恵と、それを忠実に成し遂げる恵みと力をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

### 「ハンセン病問題啓発の日」の祈り 第五十五（定期） 総会決議第三十号

慈しみ深い神よ、み子イエス・キリストは重い皮膚病（ことにハンセン病）を患った人びとを癒され、社会の中で生きることを示してくださいました。しかし、ことにハンセン病への偏見と差別のため、完治しているにもかかわらず、今もなお、共に生きる社会が実現できないでいることに痛みを覚えます。どうかすべての人びとが、この病気の事実、また回復者の現実など、ハンセン病をめぐる問題を理解することによって、み心になう社会を建設することができましますように。多くの苦しみの中にある人びとの友となり歩まれたみ子、わたしたちの主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

### 旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はハバクク書第三章一節から」

1 預言者ハバククの祈り。

シグヨノトの調べに合わせて。

2 主よ、あなたの名声をわたしは聞きました。主よ、わたしはあなたの御業に畏れを抱きます。数年のうちに、それを生き返らせ

数年のうちに、それを示してください。怒りのうちにも、憐れみを忘れないでください。

3 神はデマンから聖なる方はパランの山から来られる。（セラ

その威厳は天を覆い威光は地に満ちる。

4 威光の輝きは日の光のようでありそのきらめきは御手から射出でる。

御力はその中に隠されている。

5 疫病は御前に行き熱病は御足に従う。

## 第二編 一七節

6 主は立つて、大地を測り  
見渡して、国々を駆り立てられる。  
とこしえの山々は砕かれ  
永遠の丘は沈む。  
しかし、主の道は永遠に変わらない。  
17 いちじくの木に花は咲かず  
ぶどうの枝は実をつけず  
オリブは収穫の期待を裏切り  
田畑は食物を生ぜず  
羊はおりに断たれ  
牛舎には牛がいなくなる。  
18 しかし、わたしは主によって喜び  
わが救いの神のゆえに踊る。  
19 わたしの主なる神は、わが力。  
わたしの足を雌鹿のようにし  
聖なる高台を歩ませられる。  
指揮者によって、伴奏付き。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

## 詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

1 主はわたしの光、わたしの救い、わたしはだれをも恐れな  
い＝主はわたしの命の砦、わたしはだれをはばからう  
わたしの肉を食い尽くそうと悪を行う者が襲いかかっても  
＝わたしの敵はつまずき倒れる  
3 たとえ軍勢がわたしに向かつて陣を敷いても＝わたしの  
心は恐れない  
4 たとえ戦いを挑んできても、戦いが間近に迫ってきても  
＝わたしは信頼してひるむことがない  
5 わたしは主に一つのことを願ひ求める＝生涯、主の家  
を住まいとし  
6 主の麗しさを仰ぎ見て＝主の宮で思ふことを  
悩みの日に神はわたしを幕屋のうちに潜ませ＝天幕の隠  
れ場にかくまい、岩の上に立たせてくださる

## 使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅰ 第二章 一節から」

1 兄弟たち、わたしもそちらに行ったとき、神の秘められ  
た計画を宣べ伝えるのに優れた言葉や知恵を用いませんでし  
た。2 なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キ

リスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知らない心に決めていたからです。3 そちらに行つたとき、わたしは衰弱して、恐れに取りつかれ、ひどく不安でした。4 わたしの言葉もわたしの宣教も、知恵にあふれた言葉によらず、“霊”と力の証明によるものでした。5 それは、あなたがたが人の知恵によつてではなく、神の力によつて信じるようになるためでした。

6 しかし、わたしたちは、信仰に成熟した人たちの間では知恵を語ります。それはこの世の知恵ではなく、また、この世の滅びゆく支配者たちの知恵でもありません。7 わたしたちが語るのは、隠されていた、神秘としての神の知恵であり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。8 この世の支配者たちはだれ一人、この知恵を理解しませんでした。もし理解していたら、栄光の主を十字架につけはしなかつたでしょう。9 しかし、このことは、

「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかつたことを、神は御自分を愛する者たちに準備された」と書いてあるとおりです。10 わたしたちには、神が“霊”によつてそのことを明らかに示してくださいました。“霊”は一切のことを、神の深みさえも究めます。11 人の内にあ  
る霊以外に、いったいだれが、人のことを知るでしょうか。同じように、神の霊以外に神のことを知る者はいません。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。  
ここで聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第五章十三節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

13 「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によつて塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。15 また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

17 「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思つてはならない。廃止するためではなく、完成するためである。18 はつきり言つておく。すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。19 だから、これらの最も小さな掟を一つでも破り、そうするようにと人に教える者は、天の国で最も小さい者と呼ばれる。しかし、それを守り、そうするように教える者は、天の国で大きいなる者と呼ばれる。20 言つておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」